



《会計の知識》 『日本』の予算と決算

はじめに

平成27年1月14日、平成27年の予算政府案が閣議決定されました。今期は衆院選が12月にあったことで、予算編成にも若干の遅れが出ています。ところで、毎年予算についてはメディアで話題に上りますが、決算が最終的にどうなったかご存知でしょうか。今回は、あまり注目されない『日本』の決算について紹介します。

1. 『日本』の決算報告と25年度決算概要

日本の会計期間は毎年4月から翌年3月までの1年間となっていることは前回のメルマガで紹介しました。平成25年の決算については、平成26年7月に概要が完成、11月18日に国会に提出されました。

歳入

区分	歳入予算額	収納済歳入額	差引額	備考
1. 租税及印紙収入	45,354,000	46,952,947	1,598,947	その他租税の内訳
(1) 租税	44,252,000	45,826,878	1,574,878	⇒ 収納済歳入額
所得税	14,785,000	15,530,813	745,813	┆揮発油税 2,574,263
法人税	10,065,000	10,493,717	428,717	┆相続税 1,574,335
消費税	10,649,000	10,829,300	180,300	┆酒税 1,370,852
その他	8,753,000	8,973,046	220,046	┆たばこ税 1,037,547
(2) 印紙収入	1,102,000	1,126,069	24,069	┆関税 1,034,379
2. 官業益金及官業収入	44,845	43,699	▲ 1,146	┆石油石炭税 599,473
3. 政府資産整理収入	197,555	327,679	130,123	┆自動車重量税 381,356
4. 雑収入	3,960,205	4,590,944	630,739	┆その他 400,839
5. 公債金	45,462,042	43,454,537	▲ 2,007,505	
公債金	7,014,000	7,013,999	▲ 0	
特例公債金	35,837,000	33,836,999	▲ 2,000,000	
年金特例公債金	2,611,042	2,603,537	▲ 7,504	
6. 前年度剰余金受入	3,058,319	10,674,856	7,616,536	
合計	98,076,967	106,044,663	7,967,696	

単位:百万円

歳入について

所得税や法人税をはじめとする租税が増収していることがわかります。これにより公債金の発行が予算より2兆円削減されました。

歳出

区分	歳出予算現額	支出済歳出額	差引額	翌年度繰越額	不用額
1. 社会保障関係費	29,523,279	29,232,009	291,269	106,148	185,121
2. 文教及び科学振興費	6,769,691	6,161,433	608,258	534,611	73,646
3. 国債費	21,810,740	21,293,507	517,233	-	517,233
4. 恩給関係費	505,541	504,297	1,243	54	1,188
5. 地方交付税交付金	17,427,950	17,427,950	-	-	-
6. 地方特例交付金	125,522	125,522	-	-	-
7. 防衛関係費	5,039,670	4,792,290	247,379	175,953	71,426
8. 公共事業関係費	10,169,349	7,975,211	2,194,137	1,881,572	312,564
うち)災害復旧等事業費	686,212	446,750	239,462	158,470	80,991
9. 経済協力費	740,820	650,997	89,823	86,371	3,451
10. 中小企業対策費	548,107	504,053	44,054	11,692	32,362
11. エネルギー対策費	970,663	962,593	8,069	8,050	19
12. 食料安定供給関係費	1,253,093	1,171,857	81,236	48,649	32,586
13. その他の事項経費	10,606,455	9,387,153	1,219,301	940,082	279,219
14. 予備費	274,599	-	274,599	-	274,599
合計	105,765,486	100,188,878	5,576,607	3,793,187	1,783,420

歳出について

公共事業関連費をはじめとして、多くの支出が予算を下回り、翌期に繰り越しとなりました。

財務省【平成25年度歳入・歳出の概要】を基に筆者が加工抜粋している

2. 予算の意義

予算を組むことの意義として、目標管理が挙げられます。支出が大幅に削減されればそれでよいということではなく、なぜ支出を減らせたのか、翌期以降にどのような影響が出るのか、といった分析も非常に重要です。

決算は、予算が策定された通りに執行されているかどうかを確認するための手続きであるといえるでしょう。

おわりに

27年度予算は防衛費の計上など、すでにメディアで話題になっているものも少なくありません。そこで今回は、予算編成方針についてご紹介したいと思います。(担当:岩崎)